

<p>受 理 番 号 8</p>	<p>私学の保護者負担軽減と教育条件改善のための陳情</p>
<p>教 育 福 祉 委 員 会</p>	
<p>提出者 日立市大みか町 6-11-1 茨城キリスト教学園 理事長 笹尾 光 外1人</p>	<p>1 陳情趣旨</p> <p>(1) 保護者負担軽減のために、日立市内の私立高等学校及び中学校に在籍する生徒に対し、授業料の補助をしてください。</p> <p>(2) 私学教育の充実と公私格差是正のため、私立高等学校振興補助金を増額してください。</p> <p>2 陳情の理由</p>
	<p>県民の教育に対し、茨城の私学が果たしている役割はきわめて大きく、公立学校とともに学校教育の重要な責務を担っております。しかしながら、私学の経営基盤は誠に弱体であります。平成26年度からの就学支援金制度に所得制限が導入されたことで、授業料を全額負担する世帯が出てきました。今なお私学の生徒と保護者は高い学費負担、公私間格差を強いられています。これにより、私学の入学者が減少し、学校経営や教育活動に混乱が生じるのではないかと懸念されます。憲法や教育基本法を引用するまでもなく、学校に公私の区別はあろうとも、学校教育に公私ゆえの差別があってはなりません。すべての国民は等しく教育を受ける権利があります。幸い、日立市には昭和53年より私立高等学校振興補助金を交付していただいておりますが、これは市が私学に深い理解と関心を示された結果と感謝いたしております。</p> <p>私たちは本県を代表する日立市に、公私の格差をなくし、教育の機会均等のために、さらに努力されますよう強く要望し、陳情いたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>受 理 令和 6 年 1 2 月 5 日</p>	